



キルギス国旗



## ふらくむ通信

Project on Improvement of Human Resources in Food Laboratories for Improvement of Quality of Milk and Dairy Products(FLAQUM)

キルギス共和国乳品質向上のための食品検査人材育成プロジェクト

第3号 2021年8月

### 【プロジェクトのカウンターパート（技術移転対象）機関】

省名	部署/機関名	機能（役割）
経済財務省	技術規則・度量衡部	（プロジェクト実施責任）
	度量衡センター試験認証センター 食品検査所	食品検査
保健社会開発省	疾病予防衛生疫学監督部	食品検査、食品衛生監査
農業水資源地方開発省	獣医衛生検査院 獣医診断検査センター	乳・乳製品検査、獣医衛生監査

### 巻頭言

新型コロナウイルスの世界的感染はまだまだ続いておりますが、昨年（2020年）4月以降プロジェクトの専門家チーム全員の本邦での渡航待機は想定外の約1年にも及びました。このため現地のプロジェクトカウンターパート（乳製品工場衛生監査員や検査所検査員など）に対する技術移転計画も大きな変更を余儀なくされました。また、カウンターパート達が期待していた日本での技術研修も再延期になる等、新型コロナによる活動への影響は極めて大きいものでありました（影響はまだ続いていますが・・・）。

このような中、2021年3月下旬から専門家チームのキルギスへの派遣も暫時再開されました。これに伴い6月8日には日本側実施機関（JICAキルギス事務所）、キルギス側実施機関（経済財務省、保健社会開発省、農業水資源地方開発省）及びプロジェクトチーム（専門家、スタッフ）の三者によるプロジェクト合同調整委員会（Joint Coordination Committee = JCC）会議が1年4か月ぶりに開催されました。会議では新型コロナにより遅延した活動を取り戻すべく、プロジェクト期間の1年延長が議論され

満場一致で合意されました。今は見直された活動計画や専門家派遣計画に基づき、進捗の遅れを取り戻すべくプロジェクトチーム一丸となって取り組みを行っています。

## 1. 最近の主な活動トピック

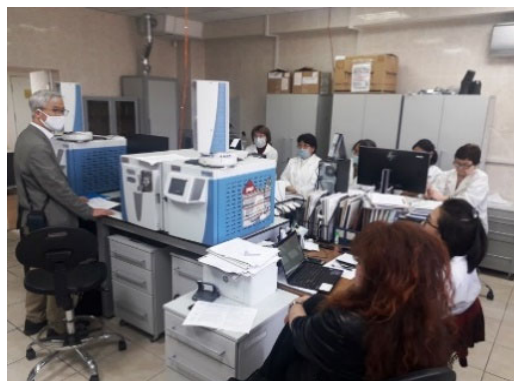
### 1-1. リモート（遠隔）研修の実施（2020年9月～2021年3月）

2020年は新型コロナの終息が見えない中で、少しでも活動を前進させるべく、同年9月から2021年3月にかけて当プロジェクトの2つの技術分野のカウンターパート（乳製品工場監査員及び食品検査所検査員）に対して、専門知識の向上を目指した研修課題（食品衛生管理システムや検査技術に関連する内容）をチーム毎に選定し、プロジェクト専門家による技術指導を日本からのリモート会議システムを使って実施しました。毎週約1回のペースで合計29回の実施となりましたが、専門家が現場に出向いて夫々のカウンターパートと直接顔を合わせながら或いは分析機器を操作しながら行う技術指導から比べると、やはり効果や効率の点では多少見劣りせざるを得ない感はあります。また通信事情の問題もあり中々スムーズに行きにくい面も多々ありましたが、何とか一定の進捗を図ることができたのは幸いです。

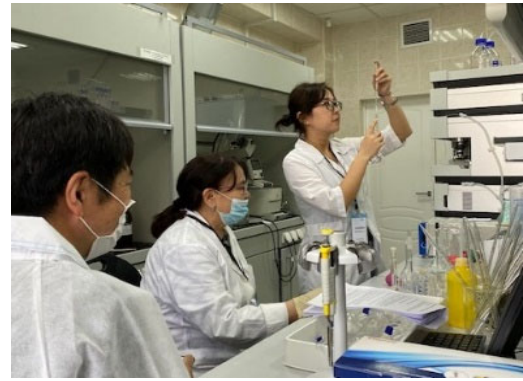
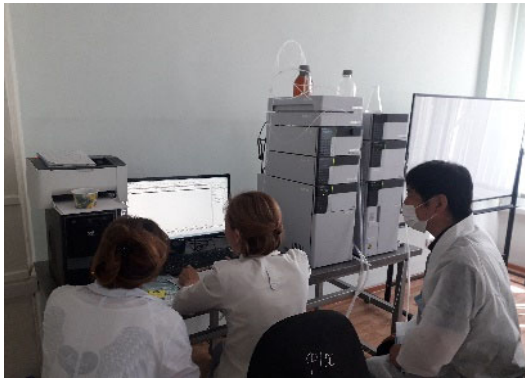
### 1-2. 専門家派遣及び現地活動の再開

2021年3月下旬にチーフアドバイザーが再赴任し、4月からは各技術分野担当専門家（コンサルタント）が順次派遣されました。ロシア政府から供与された待望の分析機器がそれぞれの検査所に据え付けられた直後でもあり、久しぶりの専門家からの直接対面指導に各機関のカウンターパートからは積極的な研修参加と様々な指導内容のリクエストが出されるなど、その期待感が感じられました。以下にその一部を紹介します。

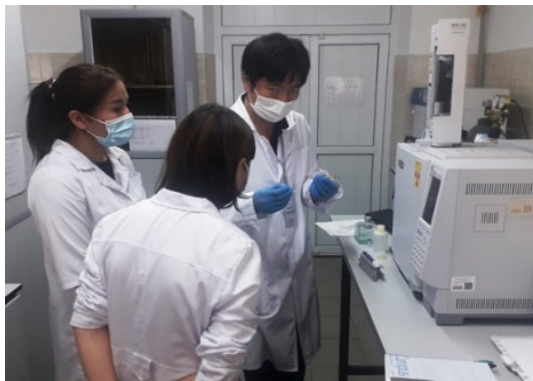
#### 【検査部門の活動】



技術総括専門家による指導（検査所検査員）

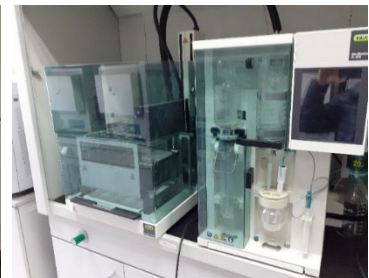


化学分析専門家による分析技術の改善指導（検査所検査員）



化学分析専門家による機器操作指導（検査所検査員）

**【新しく据え付けられた検査機材の一部】**



2020 年末にロシア政府の援助プログラムにより数多くの最新の分析機器・器具類（写真はその一部）が 3 つのカウンターパート機関の検査所に供与されました。これらを活用して分析技術の更なる向上のための技術指導が行われます。

## 【食品工場衛生監査部門】



HACCP 専門家による獣医衛生検査院乳製品工場監査員への講義と演習



HACCP 専門家による保健社会開発省食品工場監査員への講義と演習

\*HACCPとは: Hazard Analysis Critical Control Point「危害分析重要管理点」の頭文字で、食品の原材料受入れから最終製品までの工程を衛生的に管理する国際的手法。プロジェクトではこの手法の導入を目指し食品工場監査員への研修を行っています。

### 1-3. 第3回 JCC 会議の開催 (Joint Coordination Committee Meeting)

新型コロナ禍で延期になっていた第3回 JCC 会議が 2021 年 6 月 8 日に経済財務省副大臣を議長に開催されました。今回の重要な議題として新型コロナ感染拡大により影響を受けた活動全体の見直しとそれに伴うプロジェクト期間の延長に関する協議が行われ、JCC の総意として1年間のプロジェクト延長が合意されました。また前述のリモート研修や専門家派遣再開後の活動実績について専門家及び代表カウンターパート3名から夫々発表が行われました。



左列：経済財務省副大臣及びカウンターパート機関  
右列：JICA キルギス事務所及び専門家チーム

編集後記；

過ぎてしまえばあっという間でしたが、非常にストレスの多い1年でした。このような自然界の人類に対する警鐘とも思える事象（新型コロナの蔓延）に改めて人類の弱さを痛感した次第です。プロジェクト活動がこれ以上自然界の脅威に振り回されないよう祈りたいと思います。

以上